

平成21年度 日吉ダム環境学習会 ～日吉ダムでみどりの未来について考える～

平成21年9月28日（月）に、日吉ダム左岸にあるビジターセンター1階説明ホールにおいて、大阪市立大学の山倉拓夫（やまくら たくお）教授をお招きし、環境学習会を開催しました。

山倉教授は、今年度実施中の日吉ダム河川水辺の国勢調査（植物）においてアドバイザーをお願いしており、気候や植物についての幅広い視点からお話をいただきました。



当日は日吉ダム管理所や近隣事務所の職員はもちろん、水源地域ビジョン連絡会員等、日吉ダムに関係する方々計29名にご参加いただきました。

日吉ダム管理所長による挨拶の後、山倉教授による講話が始まりました。

<内容>

- 1) 世界の多様な植生の中であって、日吉ダム周辺の陸上植生はどのように位置づけられてきたか？
- 2) 日吉ダムの気温及び降水量の観測値が示唆すること
- 3) 日吉ダム周辺の緑の未来を考える

大学の“講義”のような少々難しい話もありましたが、パワーポイントを用い、視覚的に分かりやすく説明をしていただきました。



参加者のアンケート回答からは、「興味深かった」というような好意的な声が多く聞かれた一方で、「内容があまり理解できなかった」という意見もありましたので、今後開催する際の参考にさせていただきます。

この度の学習会に参加いただいた方には、この場をお借りして御礼申し上げます。

日吉ダム管理所では、水資源機構の職員や関係する方々の環境保全に対する意識の向上のため、今後もこうした学習会を開催していきたいと考えています。